

人事評価制度支援業務委託に係る受注予定者選定方針

1. 目的

この方針は、受注予定者を選定するための基本的な方針を定めたものであり、その基準を明らかにし、企画提案方式の公平性、透明性を確保するために定めるものである。

2. 評価の実施

評価については、人事評価制度支援業務委託プロポーザル実施要領に基づき、第一次評価（書類審査）及び第二次評価（プレゼンテーション）により行う。

3. 第一次評価（書類審査）

（1）日程：令和7年2月26日（水）

4. 第二次評価（プレゼンテーション）

（1）日程：令和7年3月5日（水）

（2）場所：成田市役所内会議室

（3）人数：3名以内（配置予定の管理技術者又は担当技術者は出席すること。）

（4）プレゼンテーションは、1提案者30分以内とし、提案時間を20分程度、選定審査委員会からの質疑応答時間を10分程度とする。

（5）プレゼンテーション会場では、パワーポイント等の使用を可能とする。

（6）プレゼンテーションの順番の決定方法は、参加申請書の提出順とする。

5. 評価方法

（1）評価は、人事評価制度支援業務委託プロポーザル選定審査委員会において行う。

（2）第一次評価は書類審査とし、提出された提案書等を基に、委員会が第一次評価基準に基づき審査する。提出者が5者以上のときは、評価得点の高い者から順に第二次評価に進出する者を4者以下に選定する。ただし、提出者が4者以下のときは、第一次評価を実施せず、全提出者を第二次評価に進出させることとする。

（3）第二次評価は、提案書を基にプレゼンテーションによる審査を行う。

プレゼンテーションにおける提出者の持ち時間は30分以内とし、20分程度の企画提案と10分程度の質疑時間を設けるものとする。

委員会はプレゼンテーション及び質疑応答等により、第二次評価基準に基づき評価得点の高い者から順に順位を決定する。

6. 評価基準

評価基準は、次のとおりとする。なお、評価基準に関する質問は受け付けず、回答も行わない。

(1) 第一次評価基準

① 技術点

(ア) 実績

国又は地方公共団体における人事評価制度の策定支援又は運用支援について、信頼できる実績があるか。

(イ) 実施体制

実施にあたって十分な人員配置や、管理責任体制が整備されているか。

(ウ) 企画内容

- ・仕様書と整合が図られているか
- ・スケジュール、カリキュラムは適切であるか。

② 価格点

見積金額は提案限度額内であり、業務内容に見合った価格の提示であるか。

(2) 第二次評価基準

① 技術点

(ア) 理解度

公務員の人事評価制度について、総務省・人事院が提唱している制度や先進地方公共団体の取り組み等深く理解しているか。

(イ) 企画内容

- ・具体的な提案内容となっているか。
- ・専門的な手法や技法を盛り込んだ内容となっているか。
- ・提案された研修内容は、対象者が十分理解できるものか。
- ・仕様書（案）記載の目的達成に向け、効果的な提案となっているか。

(ウ) プレゼンテーション及び質疑応答

- ・説明内容が的確であるか、また業務に対する熱意があるか。
- ・応答内容が的確であるか。

7. 評価基準点

技術点、価格点における評価基準点は次のとおりとする。

	評価基準点
非常に的確、非常に効果的、非常に積極的	5
的確、効果的、積極的	4
普通	3
やや不十分	2
不十分	1

8. 配点

配点は次のとおりとする。

第一次評価

	評価項目	評価基準	評価基準点	ウエイト	配点
技術点	実績	国等での人事評価制度の支援について、信頼できる実績があるか。	5	×4.0	20
	実施体制	実施にあたり十分な人員配置や、管理責任体制が整備されているか。	5	×2.0	10
	企画内容	仕様書と整合が図られているか	5	×4.0	20
		スケジュール、カリキュラムは適切であるか。	5	×2.0	10
価格点	見積金額	提案限度額内で、業務内容に見合った価格であるか。	5	×2.0	10
合 計					70

第二次評価

	評価項目	評価基準	評価基準点	ウエイト	配点
第 一 次 評 価 点					70
第一次評価を実施しない場合は第一次評価の各評価項目					
技術点	理解度	公務員の人事評価制度の内容等を十分理解しているか。	5	×2.0	10
	企画内容	具体的な提案内容であるか。	5	×5.0	25
		専門的な手法や技法を盛り込んだ内容であるか。	5	×5.0	25
		提案された研修内容は、対象者が十分理解できるものか	5	×5.0	25
		仕様書記載の目的達成に向け、創造性のある効果的な提案であるか。	5	×5.0	25
	プレゼンテーション及び質疑応答	説明内容が的確であるか、また業務に対する熱意があるか	5	×2.0	10
		応答内容が的確であるか	5	×2.0	10
合 計					200

9. 受注予定者の選定

第二次評価における評価順位が第一位の者を受注予定者として選定するものとし、最高点の者が複数いる場合は、原則として提案金額の安価な提出者を受注予定者とする。